

豊島通鍼

豊島区鍼灸師会発行
昭和28年11月設立/会長 一の瀬宏
所属団体/(社)日本鍼灸師会
・(社)東京都鍼灸師会/豊島
区三療師連合会

第38号(平成19年1月)

新年おめでとーございませす



新年最初の支部行事を、会員の皆様と過ごすひとときとしたいと存じます。そして、新年の寿を行いたいと思います。どうかご出席ください。

尚、欠席と通知された先生でも、もし、出席可能となったならば、ご連絡頂きたいと思っております。

豊島区鍼灸師会は、「会 先にある」ではなく、会員の先生が、会員皆様の御気持ちで作ってゆくものと思っております。

必要のないものというものも、それもひとつの方向とっております。

会長 土肥康子

会内懇談会の報告
11月18日(土) 大塚の鍼灸会館4F会議室において第2回目の会内懇談会が開催されました。新入会の青山先生にもご参加いただき12名が出席されました。

懇談会の内容は、全国学術大会について、支部の活動報告および活動案、新年会に関して等です。村上先生からは、独自の治療方法に関する体験談が話されるなど、和やかな会になりました。

当日、急用で参加できなかった保険部の金丸先生から、《保険に関する問い合わせは、電話の前

ファックスかEメールで連絡してほしい。》と伝言がありましたのでお伝えしておきます。ご協力お願いいたします。

副会長 三瓶和昭

第2回日本鍼灸師会全国大会参加レポート

今、求められる鍼灸医療から学んだこと

学術 味村 澄成

十月八・九日に東京都北区の北とびあにて第2回日本鍼灸師会全国大会が開催されました。大会のテーマ「今、求められる鍼灸医療へ広めよう!信頼と鍼灸効果」を自分自身に相関させ、教育講演・シンポジウム・セミナー等に臨みました。特に印象に残った諏訪中央病院・緩和ケア科・主任医長、平方先生の「がんになっても、あわてない」では、一生のうちのがんと診断される確率は現在の平均寿命で男性の2分の1・女性の3分の1であり、一年間のがんと診断される60万人のうち32万人が生命を脅かされています。それなのにがんに対する備えをしていないという人がほとんどで、がんと診断された時に残りの人生を棒に振ってしまいます。逆に備えをしている人は、がんによるマイナス(身体的・精神的・時間的・金銭的負担)を軽減し、中でも人生に大きく影響する精神面のマイナスを少なくし、上手にがんとつき合いその後の時間を活かせるのです。「気持ちの準備」さえあれば、有意義な時間を送れることがわかったのです。つまり『あわてないように準備しよう(あわてると損をするよ)』ということなのです。緩和ケアを必要とする人に対して、私自身なができるのか。それは、『あわてない』こと。準備を怠らなず鍼灸師として質向上、医療人として知識向上に切磋琢磨し、患者とのふれあいを大切にすることです。

次に鍼灸師・中小企業診断士である岡田先生の「鍼灸院開業の道しるべ」では、「2つのWHY?」「なぜ鍼灸院が求められるのか?」「なぜ開業したいのか?」が印象的でした。この問いかけは開業にあたり土台となるもので、この動機がなければ「羅針盤を持たずに航海するようなものだ」との表現に私自身、開業当初の思いを心に浮かべずにはいられません。信頼され、求められる治療院となるために経営努力し、多くの人に鍼灸医療のすばらしさを体験していただきたいと思っております。

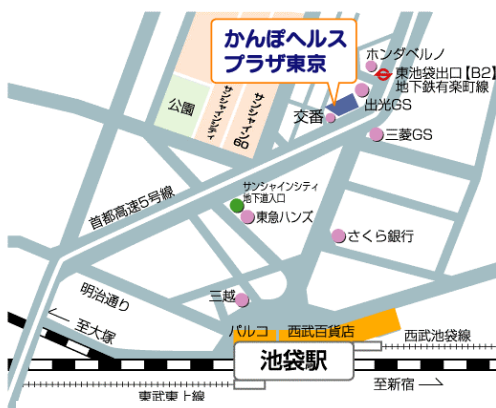
最後に本大会を通して、鍼灸医療が国民のニーズに応え信頼を得るには、鍼灸師としての責務を果たさねばならないと痛感しました

新年会のご案内

【日時】 1月27日(土)

【場所】 かんぽヘルスプラザ東京

【会費】 二千元



5時45分集合です

1月15日までにご連絡をお願いします

豊島通鍼に関するお問い合わせは

編集担当: 三瓶和昭
癒しの森指圧鍼灸院 豊島区東池袋1-15-1真下ビル3F
TEL.03-3987-6608、E-Mail sanpei184@iyashi.net

